

いわき湯本病院

小野雄太郎(リハビリテーション部 主任 理学療法士)

功 績 8月にリニューアルオープンした通所リハビリの利用者拡大に努め、10月度に目標の5件を大きく上回る15件の新規利用開始を獲得。実施件数を563件とし予算比124%、昨年比157%とすることができた功績。

また、新しい居宅事業所からの依頼も受けることができ、今後の新規利用者獲得にも大きな期待がもてる。

推 薦 者 荻津明 (理学療法士 / リハビリテーション部長)

推 薦 理 由 ケアマネージャーとの関係づくりに尽力し、個別対応からマシーンや集団体操を中心とした対応に切り替えたうえで、効果を見える化して、当院通所リハビリの差別化を行いケアマネージャーからの信頼を得たこと、新たに専任となったスタッフと協力して体制の変更に成功してスタッフ一人当たりの売り上げを向上した功績は理事長賞に値すると思ひ推薦いたします。

内 容

小野は2020年に通所リハビリの担当になってから、通所リハビリの質の向上とケアマネージャーとの関係づくりに努め、2022年度には利用予定は常に定員の100%としていました。

2023年8月に通所リハビリをリニューアルし定員数を拡大すると内覧会を企画し、関係のある事業所のケアマネージャーに新しい機器やそれによる効果を紹介するなど積極的にアピールをおこないました。内覧会に参加できなかった事業所のケアマネージャーには、機会のある度に見学に招待し熱心に機器や運動効果の説明を行っていました。リニューアルの時に導入したトレーニングマシンに付属したソフトを活用し、毎月ケアマネージャーに送付しているモニタリング用紙を一新して視覚的にわかりやすいモニタリング用紙に変更したところケアマネージャーから好評を得て、当院へ見学に訪れるケアマネージャーが増え、見学したケアマネージャーからの紹介により新たな居宅事業所から新規利用者を依頼していただいたことも含め、目標新規利用者月当たり5件だったところ15件獲得することができました。

また、新たに通所リハビリ専任となったスタッフと協力して通所リハビリの内容を個別対応からマシーンや集団体操を中心とした対応に切り替え、スタッフ一人当たりの対応可能人数を増やすことで利用者数の増加に対応し、リニューアル前と同数のスタッフ数でサービスを提供するとともに、送迎が足りないときは自ら送迎を行い利用者数の拡大に努め、前年比157%の実施件数を達成しています。

利用者拡大と少ない人数で最大の効果を生み出すために「知恵と工夫」を駆使して目標を達成し続ける小野を理事長賞候補に推薦いたします。